

そよ風

2024年6月発行
vol.50

そよ風が
リニューアルしました

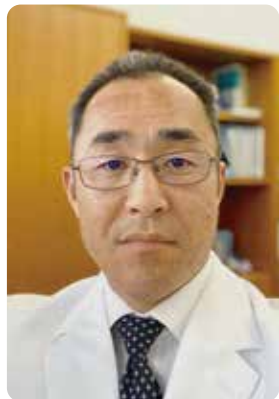


呼吸器外科スタッフ

診療科紹介

新任教授のご案内

呼吸器外科 宗 淳一
ソウ ジュンイチ



呼吸器外科 診療科部長

ソウ ジュンイチ
宗 淳一

この度、呼吸器外科の診療科部長（教授）を拝命しました宗 淳一と申します。
当科は、肺がん、縦隔腫瘍、気胸、膿胸などを対象とし、「地域に根差した大学病院」の特色を生かした診療を行っています。
ロボット手術を含む胸腔鏡手術を9割以上行い、肺を温存する区域切除も積極的に取り入れ、「低侵襲手術」（内視鏡を用いて傷を小さくしたり、臓器切除量を必要十分に小さくする体に優しい手術のこと）を心掛けています。
複雑な病状の患者さんには、さまざまな診療科と協力し、「根治性と安全性を両立した高難度手術」を提供しており、すべての患者さんに最適な医療が提供できるよう、日々努力しております。

Report

当院DMATの活動について

救命救急センター

サオヤマ ユウキ
佐尾山 裕生



令和6年1月1日に発生した能登半島地震に際して、当院からDMAT (Disaster Medical Assistance Team) 隊を石川県に派遣し現地支援を行いました。水をはじめとするライフラインが途絶していたり、現地の救急医療の逼迫が起きていたりと被災地内でその環境はさまざまでした。
「全ては被災者のために」をスローガンにチームで協力し合い支援活動を行うことができましたが、被災地はまだまだ過酷な環境下にあります。

災害は起こらないに越したことはありませんが、日頃からの備えがなければいざ発生した時には対応ができません。
我々DMATは日頃より、組織として災害発生時に迅速な活動ができるよう訓練や準備、会議を行なっています。
最後に今回の派遣に際して、関わって下さった全ての職員の皆様に感謝申し上げます。



病院長(右から3番目)との記念撮影

座りっぱなしになってませんか？



スガマ リョウ
整形外科 洲鎌 亮

悪い姿勢
BAD



良い姿勢
GOOD!



Q 私たちが、1日のうち、どれくらいの間、座っているのか？
考えたことはあるでしょうか？

A “7時間”！
オーストラリアの研究機関の調査により明らかにされた数字で、日本人の成人が平日に座っている時間です。これは調査対象となった世界20カ国中、第一位となります。

では、この“座りっぱなし”により、何が引き起こされるのでしょうか？
“座りっぱなし”により、肥満や糖尿病、脳卒中、がんのリスクが高くなると報告されています。さらに精神面にも影響し、うつも引き起こされることが分かっています。厚生労働省やWHO（世界保健機関）は、この“座りっぱなし”に警笛を鳴らし、改善を呼びかけています。

アメリカのテキサス大学の研究では、座り時間の30分を、ウォーキングなどの軽度の運動に置き換えることで、がんによる死亡率は8%低下する、またサイクリングなどの中等度の運動に置き換えることで、31%低下することが



詳細は
こちら！



特集 関西テレビnewsランナー
『座りっぱなし』は寿命を縮める

分かりました。
“座りっぱなし”の危険性、わかってくれましたか？

Q では、どうすれば、“座りっぱなし”から脱却できるのか？

A 簡単です！
30分に一度立ち上がりましょう！
そして正しく座りましょう！！

わたくし整形外科医の洲鎌亮は、2023年12月6日の関西テレビnewsランナーで、“座りっぱなし”のリスクについて解説し、正しく座るコツについて実践を交えて紹介しています。

興味がある方は、ぜひご覧ください。

ちょっとした意識改革で、“座りっぱなし”を解消し、健康的な生活を手に入れましょう。



2023年11月に厚生労働省は、健康維持に必要な運動量の目安を発表し、成人は1日60分以上のウォーキングと週2-3回のトレーニングを行うことが望ましい、としています。

参照：健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023

発行 大阪公立大学医学部附属病院



WEBサイト
<https://www.hosp.omu.ac.jp/>

所在地 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
電話 (06)6645-2121 (代表)

初診受付時間 午前8時45分～午前10時30分
休診日 土・日・祝日、12月29日～1月3日

市民医学講座

を開催しています！

大阪公立大学医学部では、地域住民の皆様に病気の治療と予防についての知識を深めていただくため、平成7年より無料の「市民医学講座」を開催しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年よりWEB講演となっておりますが、昨年12月より対面講演を再開しました。

当院の病院ホームページから参加のお申し込みをいただけます。皆様のご参加お待ちしております。

お申し込みはこちらから！

大阪公立大学医学部附属病院 市民医学講座

検索

詳細はホームページよりご確認ください

▼公式HP



※各回先着160名、18歳以上限定（事前申込が必要となります。）

※開催月の前月1日からお申込みいただけます。

今後の開催予定

※日程が決まり次第HPにて告知します。

2024	9月	現代の感染症に対するワクチン接種の意義 公衆衛生学 准教授 大藤 さとこ
	10月	「がんを光らせて治す」時代がやってきた！ 肝胆膵外科学 教授 石沢 武彰
	11月	内分泌疾患と高血圧 血管病態制御学 講師 永田 友貴
	12月	現代人における高尿酸血症・痛風 代謝内分泌病態内科学 講師 藏城 雅文
2025	1月	各種検査からわかること 血液腫瘍制御学 准教授 中前 博久
	2月	認知症の研究と診療と最前線 ～目に見えて分かる診断、目に見えて効く治療を目指して～ 病因診断科学 教授 樋口 真人

市民医学講座お問い合わせ

gr-hosp-igakukouza@omu.ac.jp

会場

大阪市阿倍野区旭町1-2-7

あべのメディックスビル 医学情報センター6階ホール



血圧をモニタリングするため、動脈に管を入れています。



人工呼吸器の設定を患者さんに合わせて変更しています。

看護部シリーズ

特定行為研修者の声

看護部

甲斐 教子
カイ ノリコ

当院HCU病棟における特定看護師（特定行為研修修了生）の活動をご紹介します。

特定看護師は、医師による特定行為研修を修了し、あらかじめ医師から指示をうけ医師の判断を待たずに一定の診療の補助を行うことができます。さまざまな業務で多忙な医師の不在時に、常に傍にいる看護師が患者さんの変化を判断しタイムリー

な医療を提供します。

HCUでは状態が不安定になったり回復に時間を要する状態の方が入室されます。私たちは、重症化を防ぐために血圧をモニタリングする動脈ラインを挿入したり、装着された人工呼吸器を外せるように薬剤や機器を調整し、特定看護師としての看護を通して患者さんのより早い回復を支援できるよう努めています。

カワシマ トシユキ

脳神経外科

川嶋 俊幸

てんかんは、日本に約100万人の患者さんがいる身近な「脳の疾患」で、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方が発症し、重症度は千差万別です。

我々の脳の中では、日々電気活動が行われており、その活動(情報伝達)によって身体を動かしています。

しかし、まれに脳の一部で異常な電気活動が起こることで、「てんかん発作」を発症することがあります。

てんかんを発症すると、身体の一部の震え、全身の痙攣、意識障害など、さまざまな症状を引き起こします。さらに薬物での治療が困難な難治性のてんかんになることもあります。

難治性のてんかんは、発作のコントロールができず、頻繁に発作を繰り返し、転倒による外傷や脳の萎縮、QOL(生活の質)の低下など別の問題も引き起こします。

約6割の患者さんは薬の服用で発作を抑えることができますが、薬物治療が難しい場合でも外科手術をすることで、発作が完治することや症状が軽くなることがあります。

てんかんやパーキンソン病など、運動障害と呼ばれる疾患に対する手術治療は、手術の時期やどのような手術が適しているのかなど

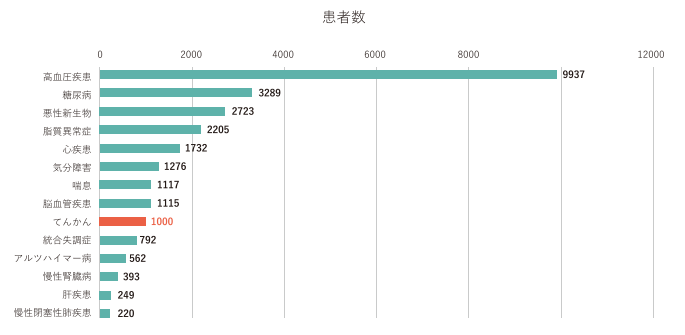
判断が難しいとされています。最適な時期に手術を受けることができず、結果的に外科手術の機会を逃した方も少なくありません。

そこで、我々脳神経外科グループでは、土曜日に患者さん対象の治療相談会(予約制)を実施しております！

診察の時間に縛られることなく、納得のいくまで治療についてお話ししていただける機会を設けておりますので、気になる方は下記よりお申し込みください。

(費用無料・紹介状不要)

我が国における主な疾病の総患者数



厚生労働省HPより引用(H29主な疾病の総患者数)

お電話、メール、FAXにてお申し込みいただけます！

参加申し込み 平日9時～16時まで受付

06-6645-3846 (脳神経外科医局)

「治療説明会の予約」とお伝えください

お問い合わせ

gr-med-neurosurgery@omu.ac.jp

件名を「治療説明会についての問い合わせ」としてください



ホームページからPDFをダウンロードしていただくとFAXからお申し込みが可能です

▶ 脳神経外科学HP
診療について(「パーキンソン・不随意運動」専門診療)

大阪公立大学附属病院 脳神経外科
てんかん外科治療、脳深部刺激療法(DBS)
治療説明会 (現地 または Web)のご案内

当院では難治性てんかん、パーキンソン病、本態性振戦、ジストニアにお悩みの患者さまとそのご家族を対象にてんかん手術、脳深部刺激療法の治療説明会を実施しております。
治療法の概要、効果などについて分かりやすく専門医が説明致します。説明会への参加は無料で紹介状も不要です。お気軽にお問い合わせ下さい。(個別、事前予約制)

【日時】土曜日 ①午前10時～②午前11時～(その他の日時もご相談ください。)
【場所】あべのメディックスビル4階会議室(近鉄南大阪線「あべの駅」徒歩5分) または、Web形式
【費用】無料
【定員】1日先着2組(事前予約制)
【説明会担当医師】大阪公立大学附属病院 脳神経外科

講師 宇田武弘(てんかん) 川嶋 俊幸(DBS)

会場アクセス
あべのメディックスビル
＜電車でお越しの場合＞
JR「天王寺」、近鉄南大阪線「あべの駅」より徒歩5分
＜お車でお越しの場合＞
メディックスビル地下駐車場をご利用ください。(有料)

参加申し込み方法
申込書に必要事項をご記入の上、お電話、メール、またはFAXをお願いします。

治療説明会のご案内